

投影用

令和7年11月17日(月)

14:30~15:30(予定)

福島市こむこむワイワイホール

令和7年度福島県農村地域振興セミナー2025

ー 分野・世代を超えた農村(むら)づくり ー

他分野連携と 多世代参画の重要性

地方考夢(こうむ)員®研究所代表

総務省地域力創造アドバイザー

(一社)全国農業会議所専門相談員

澤 畑 佳 夫

**無断での録音
・転用・複写は
禁じます**

講師： 澤 畑 佳 夫（さわはた よしお）

昭和33年2月生，元茨城県東海村職員、自治推進（自治基本条例、協働の指針、男女共同参画、行政懇談会、村民相談室等を担当）課長、農業委員会事務局長（平成28・29年度）等を歴任。1年間の再任用職員も経験し、平成31年3月末に退職。農委事務局長時に全農地を対象とした5年後の農地利用意向調査や**日本人にあったファシリテーション**を活用した農業集落座談会等を企画・実施し，その結果を基に農地中間管理事業を活用した大幅な農地集積等を行った。その手法や考え方は，これからの農地集積・集約，遊休農地の発生防止，解消等の先進事例として全国から注視されてきた。現在，農業分野をはじめ行政・JA・企業等も対象に現場出身者ならではの目線で「初めての方でも分かり易い」講演・研修会等を行っている。その受講者はこれまでに「**43都府県約500会場で延べ4万人**」、受講後のアンケートでは満足度が常に90%を超えている。「農業を通じたまちづくり 農村 RMOの活用法）」、農業普及指導員や認定農業者等を対象の講演依頼も増えている。「**参加者が納得する合意形成に導く専門家**」として、日々多忙な毎日を送っている。



沖縄県中城村の地域計画等の「推進アドバイザー（コーディネーター）」として活動中

☆（一社）MFA（会議ファシリテーター普及協会）公認ファシリテーター

【連絡先】 090-4948-3575 E-mail : s-gonta@ozzio.jp

地方考夢員研究所
（登録をお願いします!）

本題に入る前に 私がなぜ今の仕事をしているのか！

今の私があるのは、約50年前
渡辺 博史先生との出会い

(当時:流通経済大学社会学部教授/2001年永眠)



私は19歳の学生。県が主催の事業
(新成人者が対象)村からの依頼を受けて
参加。土曜日の午後1時～4時までの講演

アルジェリアの
「ラシッド」青年の話

たった一人の青年の行動が周りの
「人」そして地域の**環境を変えた！**



- 1 どこを出たかではなく、**何が出来るかだ！**
- 2 人に何をしてもらえるかよりも、**自分には何が出来るかだ！**
※ 上手くいかないのは全て自分のせいだと思え。他者の責任にはするな。
- 3 **仕事は**言われてするものではなく、**探してするものだ！**

この考え方は、あらゆる分野でこれから役に立つと思った。私は、この渡辺先生の教えを胸に抱き、その後役場の職員として、そして定年後の現在は講師やアドバイザー等の活動の中で皆さんにもお伝えしている。

皆さんの前で、本日お話が出来ることを「**誇り**」に思う。

私の役目は、皆さん(あなた)の①気付き ②不安や心配ごとの軽減
③今後の活動力アップのための支援を行うことである。

講師の最大の「思い違い」

現状やデータに基づき説明すれば、皆さんは理解して、一緒に動いてくれるだろう！！

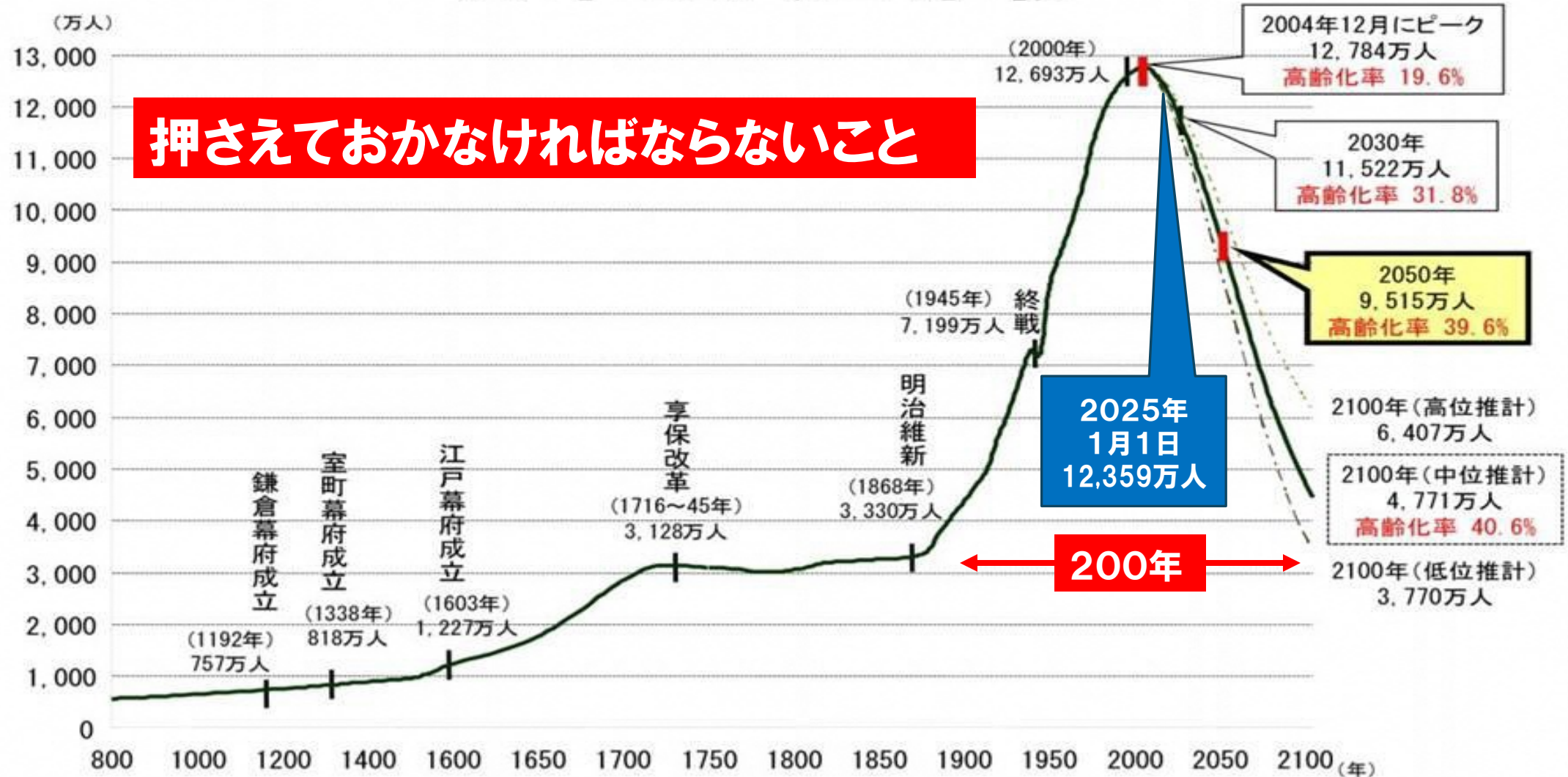
みんなで「**計画**」を作り、たとえその内容や進め方が「**正しかった**」としても、相手の「**心**」に響かなければ「**行動**」にはつながらない

行動を生むのは「**正しさ**」ではなく「**共感**」や「**納得感**」である

※本日も、講演の後に皆さんから

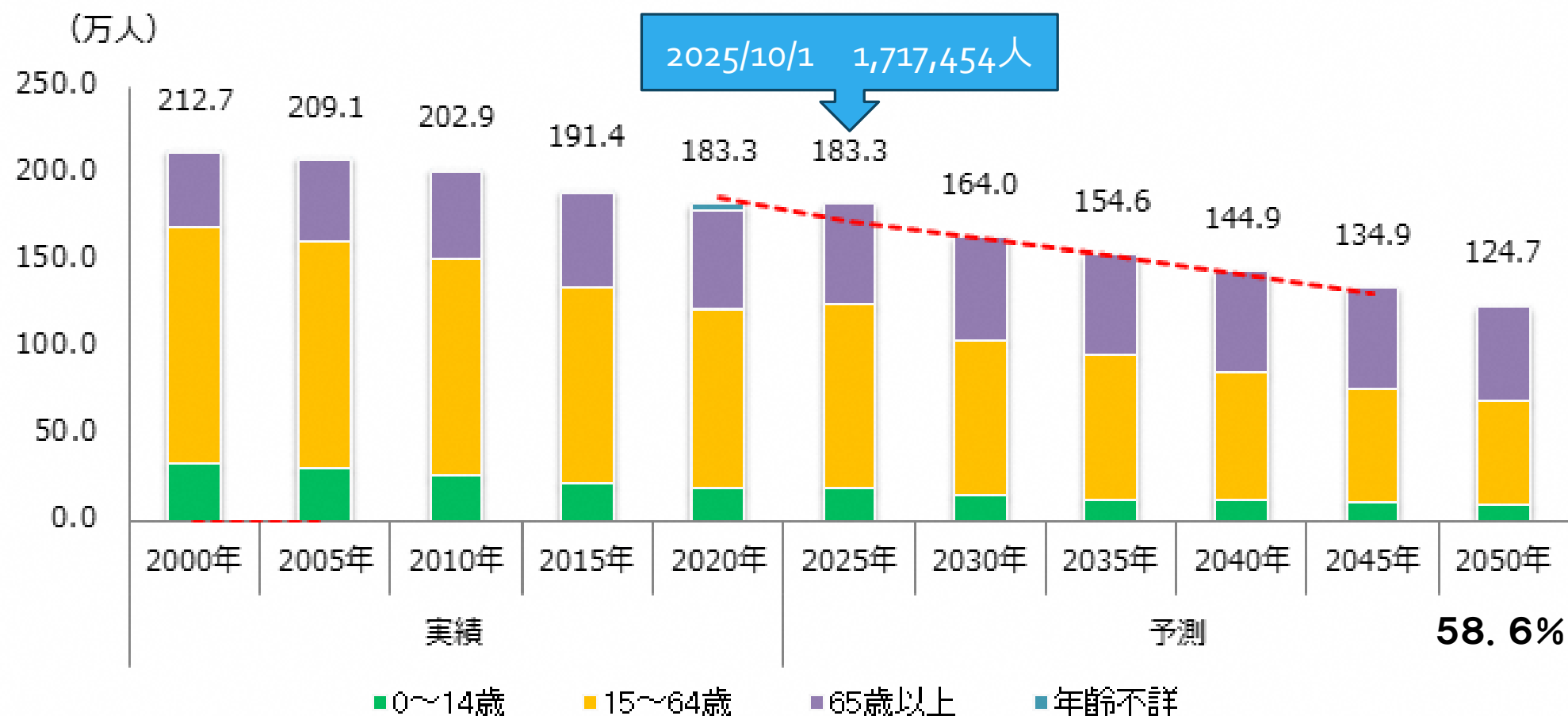
私もそう思う　ようやく私の考えと同じ人が現れた
是非、一緒にやっていきたいです！　やっぱりそうですよね！

日本の人口推移



出典:「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要(平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会)

福島県の人口推移



【2020年】

総面積 (km²) 13,784

人口密度 (人/km²) 133.0

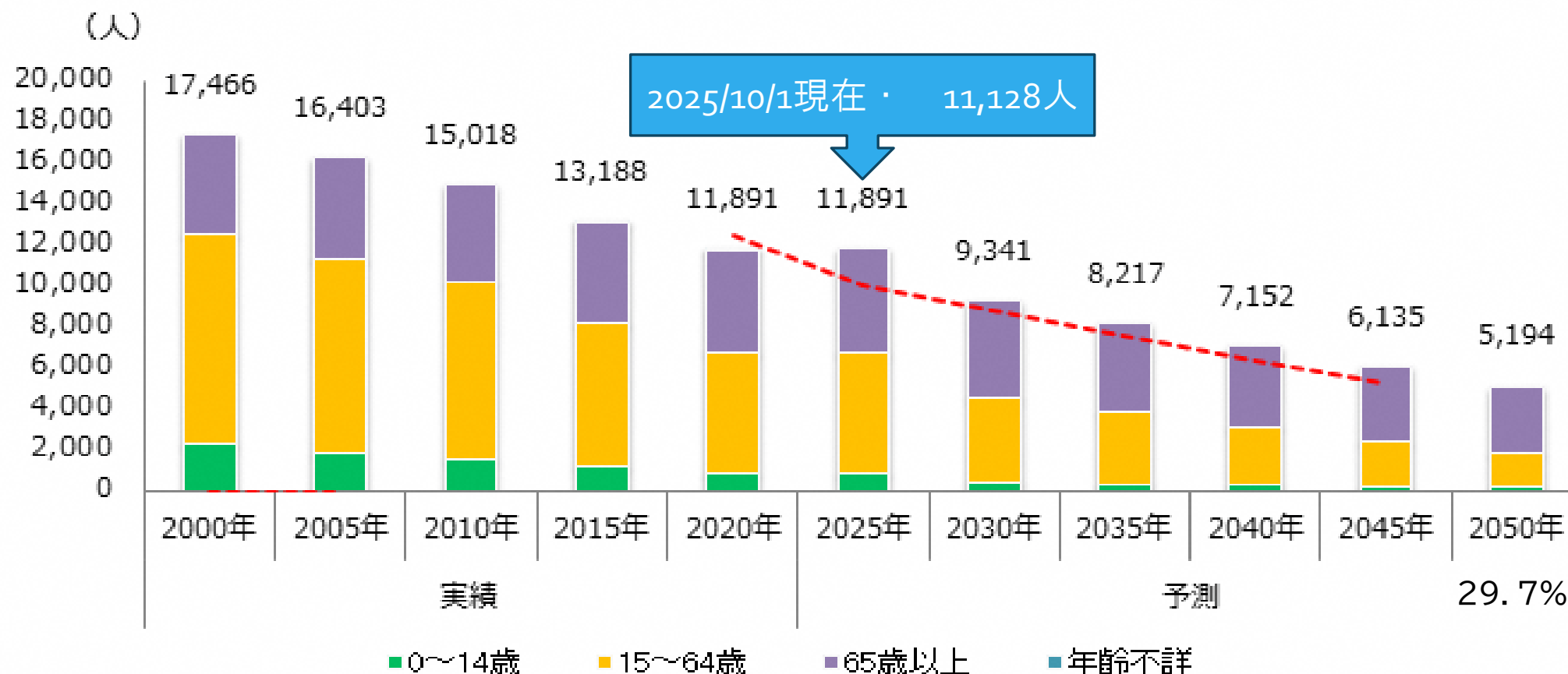
平均年齢 (歳) 49.6

昼夜間人口比率 (%) 100.2

※昼夜間人口比率のみ2015年時点

※図中の点線は前回2018年3月公表の「将来人口推計」の値 © jp.gdfreak.com

講師が係ったT県M町



【2020年】

総面積 (km ²)	173
人口密度 (人/km ²)	68.9

平均年齢 (歳)	55.9	昼夜間人口比率 (%)	88.3
----------	------	-------------	------

※昼夜間人口比率のみ2015年時点

※図中の点線は前回2018年3月公表の「将来人口推計」の値 © jp.gdfreak.com

**各市町村では今年の3月までに「地域計画」
(地域の農業および農地活用)を作った**



地域計画とは

- ① 地域農業の将来像(10年後)を考える**
- ② ①を踏まえて農地活用に関しての
目標地図を考える**

**今年の4月から、ブラッシュアップ
(磨く、改善)しながら具現化を目指す**

講師が係った地域懇談会のなかには・・・

農業・農地活用(耕作者等)の担い手がいらない



「**地域**」の担い手がいらない
たとえ、いたとしても・・・

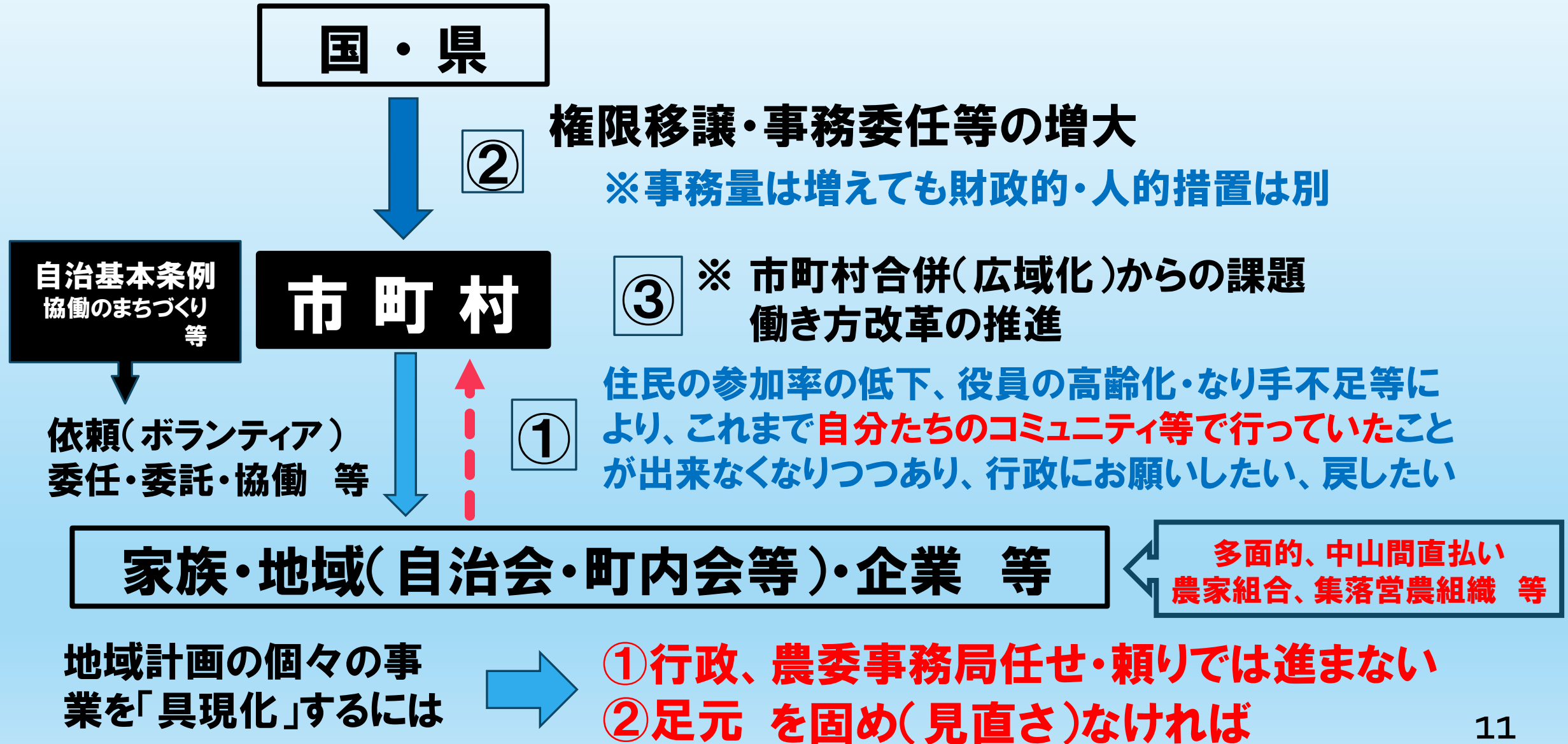


特に、地縁団体(自治会、町内会)等からは

◎加入者が減ってきている

◎役員の高齢化・なり手不足 等

一方、現在の市町村(行政)の状況は？



皆さんはこれもお存じですか？

①農林水産関係の市町村職員数（総務省：地方公共団体定員管理調査結果）

2004年 41,628人



18年後

2022年 29,708人

28.4%
の減少

②総務省「自治体戦略2040構想」研究会(2018/7)報告

2040年(15年後)には、報告時の**50%**の
公務員で行政を担う必要があると記述されています

※ 最大の要因は「人口減」

これは〇〇市の話し合いの様子だが・・・



ある地域の**農業懇談会**の様子 参加者は約30人
時間は90分 さて何人の方が話されたと思うか？



分断線

説明会ならいいの
ですが...

これまで私自身が多く会議や話し合い等に関わってみて、
開催後のアンケート等で共有していることは？

- いつも(**同じ** 人)ばかりが話している
- (**声** の大きい人)の意見だけがとおる
- ごく少数意見が(地域・団体の **代表**)意見として取り上げられている場合がある
- その場で意見を言える(**勇気**)がない
- どうせ意見を言っても変わらない
- はじめから(**結果**)は決まっているのではないか

話し合いの途中では(**〇〇** のくせに・・・)という言葉

「地域のゴール」を考えるための座談会の様子

(茨城県那珂市額田地区 2023年11月)



埼玉県上尾市地頭方地区集落座談会

(2020年11月)

17

- ・地権者
- ・耕作者
- ・新規就農者
- ・JA
- ・農業委員
- ・農地利用最適化推進員
- ・市農政課
- ・農委事務局

- ・自治会長
- ・地区まちづくり協議会長
- ・農林事務所六次産業化担当
- ・商工会議所
- ・農業大学の学生
- ・市都市計画課
- ・農林事務所 農道・圃場整備担当



県立農業大学の学生

商工会議所の方

中城の農業推進 検討委中間報告

住民運営組織を提案

【中城】中城村の農業土地
利用構想の推進及び体制
等に関する検討委員会（委
員長・新垣正副村長）は9
月24日、農村型地域運営組
織（農村RMO）設立の提
案などをまとめた中間報告
書を比嘉麻乃村長に提出し



た。

検討委は5月30日の初回
から5回の会合で中間報告
をまとめた。①もうける農
業の実践②農業に挑戦しや
すい環境づくり③学びの場
の充実④資源の有効活用―
の具現化を目指す。行政支
援だけでは限界があるた
め、住民主体で運営する農
村RMOの立ち上げの必要
性を訴えた。

今後は農村RMOの設立
可能性の模索や行政と住
民の目指す方向性、役割分
担の明確化が重要だとし
た。

比嘉村長は「中城は農業
に適した自治体で、農業は
守るべきものだ。最終報告
にも期待したい」と話した。

中城村の比嘉麻乃村長（右）に
中間報告書を手渡す農業土地利
用構想の推進及び体制等に関す
る検討委員会の新垣正委員長＝
9月24日、中城＝

地域づくりの団体、なぜ活動(内部事情)が停滞(失敗)したのか！

成功に「まぐれ」あり、失敗に「まぐれ」なし！！

	具体的な事例	解説／背景	注意点
① コ ア メンバー 不 足	発起人が2人しかおらず、 事務・調整・実務が偏り、 健康上の理由で活動停止	発起人頼みの「ワンマン 型」になりやすい。 後継者育成や役割 分担が不十分	最低5～10人で核 をつくり、役割を分 散すること (女性、若者)
② 行 政 丸投げ	行政が「補助金あるから 作って」と住民に要請。 形だけ設立 → 補助金終了後に解散	住民との合意形成を考 えないで進めると「行政 の都合」とみられ、当事 者意識が育たない	住民に「納得」して もらうような対話 を続ける。あまり急 がせない。

	具体的な事例	解説／背景	注意点
③ 目的が あいまい	「組織」を作ることが ゴールになっている。 何をやるのかが決まら ず活動が停滞	活動内容を絞らずに広 げ過ぎると疲弊し、 結局は何も進まない	初期は、1～2の テーマに絞り、「出 来た実感」を共有 する
④ 財 源 依 存	補助金に100%依存 事業収入や会費ゼロ。 補助金終了とともに 活動休止	公的資金が切れると すぐに資金切れ	会費や自主事業で 「最低限の自立財 源」を確保する
⑤ 合 意 形 成 の失敗？	公平感が崩れて 分裂	歴史的な対立や 不公平感が 表面化	「透明性」と「公平 性」の確保。小規模 な範囲から信頼を 積み上げる

	具体的な事例	解説／背景	注意点
⑥ リーダーと 住民の 温度差	リーダーは熱心だが、特に女性や若者には「関係ない」と思われ、いつも参加者が固定している	「地域のために！」が生活実態と実感につながらない	若者や女性にも関心・直結するテーマを盛り込み、役割も分担する
⑦ 活動範囲 が広すぎる	農地管理、福祉、観光、直売所・・・全て一度に始めて疲弊	人手、資金に対し、活動量が多すぎる	まずは、「身近で効果が見える1つ」に集中し、段階的に拡大する
⑧ 事務(書類・会計等)処理で停滞	事務を担える人材が不在。外部委託の費用もない	事務作業を軽視すると運営が止まる	会計・事務の担い手を初期段階から確保する。外部の専門家とも連携

これから、はじめるなら！

① **小さく**始める

② **少人数**で抱え込まない → 巻き込む

③ お金と役割を自律的に
回す**仕組み**をつくる

参考になる事例紹介

1. 岩手県遠野市綾織地区

(1) 田んぼの中の 公衆トイレ !

(2) 農家 レストラン ?

2. 東海村での思い出

会議室内の「託児スペース」

ある座談会の席上で住民から発せられた発言

市役所は**本気で取り組む気があるのか！**
そうでないなら**住民を巻き込むな！**と



私も発言の通りだと思います。市役所も**上辺だけでなく本気で取り組むことが重要**だと思います。

ただ、もう一つ重要なことがあります。それは

「**住民**」の**皆さんも本気で取り組むのか**、ということです。

俺たちはどうするか分からないが、市役所は本気で取り組め、ではおかしい！アンフェア(不公平)ですよね！！**俺たちも頑張るから**市役所も一緒に頑張ってくれ、ならわかりますが。そうですよね皆さん！！

※ 役所が・・・ 住民が・・・ ➡ 皆さんの地域は・・・

※ 役所の職員を・・・

皆さんのまちを、
より元気にするのは
「**皆さん**」です

「出来るか出来ないか」ではなく
「**やるか、やらないか**」です

決められた資源(人・もの・カネ・情報・時間・知的財産)を活かし
「**何を残し、何を手放し、何を新たに創るのか！**」

貴方の
「**強み**」は
何ですか！

そして貴方には
何が**できますか！**



※ 進化論を唱えたダーウィンは、「この世に生き残る生物は、最も力の強いものか？ そうではない。最も頭がいいものか？ それでもない。それは**(変化)**に適應できる生き物だ」という考えを示したと言われています。

A photograph of three young children, two girls and one boy, standing in a lush green field. The child on the left is a girl with dark hair, wearing an orange cap and a light yellow t-shirt. The child in the middle is a boy with dark hair, wearing a red cap and a beige and white striped t-shirt. The child on the right is a girl with dark hair, wearing a blue bucket hat and a pink t-shirt. All three children are smiling broadly, showing their teeth. The background is a soft-focus green field with some trees in the distance under a pale sky.

ここが好き！ずっと暮らしていきたい！

おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、
ぼくらの「まち」の将来・農業のこと考えてくれた??